

会報 第10号

Beyond the Horizon



発行：宮古市国際交流協会 宮古市宮町一丁目1-80
Tel: 0193-62-3534 Fax: 0193-62-7030
Mail: info@miyako-kokusai.com

Homepage: www.miyako-kokusai.com
Facebook: www.facebook.com/miyako.international
多文化共生ラジオ: 毎週水曜日午後6時半~

宮古へようこそ！

ラグビーワールドカップで 世界中からのお客様をおもてなし



宮古駅前外国人観戦客に対応するスタッフの皆さん



列車の切符購入のお手伝い

大きな盛り上がりを見せて閉幕したラグビーワールドカップ日本大会。宮古市国際交流協会では、釜石での試合を観戦するために宮古市を訪れる外国人に対応するため、宮古駅前に外国語を話す案内スタッフを配置しました。

九月二十五日のフィジー・ウルグアイ戦の前日には、フィジーをはじめ、イギリスやオーストラリアなどから大勢のお客様が宮古入りしました。案内スタッフは、三鉄やJRの切符の購入のお手伝いや、ホテルの予約、ホテルまでの案内、ATMでのキャッシング、タクシーへの乗車、買い物などの案内、ATMでのキャッシング、バスやタクシーへの乗車、買い物、ピア・カナダ戦は、十月十三日のナミビア・カナダ戦は、

台風のため残念ながら中止になってしまいましたが、試合の二日前には、はるばるナミビアから大勢のお客様が宮古にいらっしゃいました。ナミビア出身で宮古市にお住まいの佐々木アニータさんにも、案内スタッフとして協力していただきました。ナミビアからは、これほど遠い国に根を下ろしている同国人がいることにも驚かれました。

試合は残念ながら中止になってしまいましたが、その翌日には、台風の被害を受けた市民を元気づけたいと、ナミビアチームの皆さんが交流イベントの開催を申し出てくださいました。

宮古市が公認チームキャンプ地になったことで生まれたフィジーとナミビアとの交流が、これからも長く続き、さらに深まることを期待しましょう。



田老で震災について学び、小学生と交流するフィジー代表

宮古と世界をつなげる日

いわて青年国際塾 in 宮古 宮古市多文化共生講演会

九月二十九日に、「宮古と世界をつなげる日」と題して、午前と午後二つのイベントを開催しました。

午前には、盛岡市で民泊経営、翻訳、ナレーションなど、様々な分野で活躍しました。大勢の高校生や大学生が参加してくださいました。すべて英語で行われたレクチャー

とグループワークなどを通じて、英語でのコミュニケーションを実践で学びました。午後には、岩手県立大学盛岡短期大学の熊本早苗先生とパトリック・マーハー先生を講師に迎えて、「宮古市多文化共生講演会」を開催しました。多文化共生とはどういうことなのかを若い人たちに考えていただく機会になりました。



英語でのアクティビティーに、皆さんが楽しそうに取り組んでいます



熊本先生とパット先生の講演会に真剣に聞き入っています

みやこ秋まつりパレード

九月十四日と十五日に、みやこ秋まつりが開催されました。宮古市国際交流協会では、市内在住の外国人の皆さんと一緒に、宮古市役所チームとして手踊りパレードに参加しました。秋まつりに備えて、日本語教室「さくら」では、日本語の勉強の後で「大漁祝い」と「アイヤ節」の手踊りの練習を重ねました。「さくら」の練習だけでは飽き足らず、宮古市役所チームの練習会に参加して踊りをマスターした方もいました。パレード当日は、皆さんが思い思いの浴衣を着て参加しました。



色鮮やかな浴衣を着て記念撮影

にほんご広場 災害時研修 「防災リユックに何をに入れる？」

十一月五日は「世界津波の日」です。これに合

わせて、十一月三日に「にほんご広場・災害時研修『防災リユックに何をに入れる？』」を開催しました。

津波だけでなく、自然災害に対する備えについて、外国人と日本人が一緒に話す機会を設けたも

のです。講師は、宮古市国際交流協会の理事で、

重茂中学校副校長の佐々木匡人先生にお願いしました。アメリカ、インドネシア、フィリピンなど、さまざまな国出身で宮古市にお住いの外国人の皆さんが参加し

てくださいました。



ワークショップでお活発な意見交換の様子

先月の台風十九号では、宮古市も甚大な被害を受けました。その記憶が新しい中で行われたこの研修会では、参加した人たちから活発な意見が出されました。台風十九



号の時の状況を共有し、その後のワークショップでは、防災リユックにどんなものを入れるかをグループで話し合い、必ず入れたいもの三つを決めて発表しました。日頃の備えについて意識できたと思います。

トリステンさんのチャットルーム

ALTとして市内の学校で英語を教えているアメリカ人のトリステンさんの発案で、英語に興味のある学生の皆さんに外国人と英語でおしゃべりを楽しんでいただくため、「Tristan's Chat Room」を開催しました。当日は、トリステンさんの友達のアメリカー人ALT二人もゲストとして参加し、宮古北高校に通う生徒さん二人とおしゃべりを楽しみました。思い切つて参加してくれた意欲的な高校生のお二人と、若い人たちに英語に触れてもらうための機会を提



イース



医療通訳勉強会のお知らせ

宮古港への外国客船の寄港の増加や、外国人の個人旅行者の増加に伴い、怪我や急病で医療機関を受診する外国人の数が、宮古市内でもこれからどんどん増えていくことが予想されています。

そのような時にサポートできる人材を増やすため、通訳案内士の加藤さん進行役にお迎えして「医療通訳勉強会」を開催することにしました。

宮古市国際交流協会の「通訳・翻訳データベース」に英語通訳として登録

四回中三回以上参加された方には、勉強会終了後にテキストを贈呈いたします。

教材の準備の都合上、参加を希望される方は、十一月二十二日までに申し込みください。

また、この機会に「通訳・翻訳データベース」への登録を希望される方は、登録票をお送りいたしますので、

録している方が対象です。宮古市国際交流協会までご連絡ください。

参加費：無料

開催日：十一月二十七日、十二月四日、十二月十一日、十二月十八日

時間：午後六時半から七時半まで

会場：イーストピアみやこ二階創作スタジオ

登録された方には、外国客船の寄港の際などに、通訳スタッフとしてご協力をお願いする他、宮古市国際交流協会に通訳や翻訳の依頼があった際に、内容に応じて適した登録者の連絡先を依頼主にお伝えします。



今年4月のダイヤモンド・プリンセス寄港の際に、浄土ヶ浜を訪れる大勢の外国人

交流サポーター募集！

協会の事業をお手伝いしてくださるボランティア「交流サポーター」を募集しています。

活動は、国際交流・国際理解活動での企画や運営のお手伝い、在住外国人の皆さんの日本語学習のお手伝いなどです。特に、日本語学習では、定期的に開催している日本語教室「さくら」やにほんご広場で、「外国人と一緒に学ぶ」「日本語での会話を楽しむ」という気持ちで、気軽に、気軽にご参加ください。

各種活動を通して、在住外国人



日本語教室「さくら」の学習者、地域日本語教育コーディネーター、交流サポーターの皆さん

の皆さんの日常の困りごとのサポートをしていただけるとうれしいです。もちろん、外国人の皆さんにお手伝いしてもらえ、る機会もあると思います。地域での生活で互いに助け合う関係性を作ることが目標です。

交流サポーターとしての活動に興味があり、参加したいという方は、登録票をお送りしますので、宮古市国際交流協会までご連絡ください。